

個人投資家の皆様の相場環境等に対する意識調査のため、2024 年 3 月 8 日から 3 月 13 日までインターネットを通じて、マネックス証券に口座をお持ちのお客様向けにアンケート調査（回答数 1,495 件）を実施しました。回答いただいた皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。

今回、定例調査である個人投資家の相場観の調査に加え、特集として 2024 年の日米相場高値予想と新 NISA の利用状況について調査しました。（当社ウェブサイトへの掲載日は、2024 年 3 月 28 日です）

「MONEX 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査としてアンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009 年 10 月に第 1 回サーベイを行い、2009 年 11 月から 2016 年 3 月までは月次で、2016 年 4 月から 2016 年 12 月までは隔月、2017 年 3 月以降は四半期毎に調査結果を公表しています。

また、グループ会社であるトレードステーション証券（米国）、マネックスBOOM証券（香港）の個人投資家の皆様にも調査を行い、調査結果を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」として公表しております。2011年6月から2016年3月までは四半期毎、2016年6月以降は半年毎、2018年12月以降は、1年毎に調査結果を公表しています。

■調査結果

【特別調査】

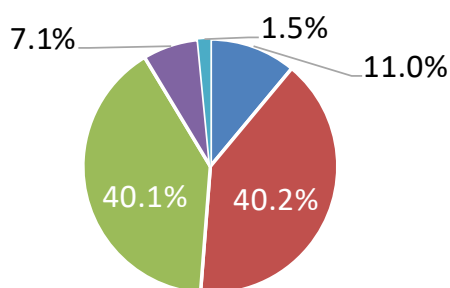
1. 2024 年日経平均株価とダウ平均株価の高値予想

特別調査の1つ目として、2024年の日経平均株価、ダウ平均株価の高値予想を調査しました。

1-1. 2024年の日経平均株価の高値は「40,110円以上42,000円未満」が最多。2024年のダウ平均株価の高値は「39,132ドル以上42,000ドル未満」が最多。

【参考 3月21日の日経平均株価終値：40,815.66円、3月21日のダウ平均株価終値：39,781.37ドル】

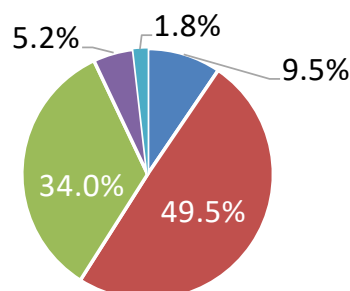
グラフ1-1: 2024年日経平均株価高値予想



- 40,109円 (2024年3月4日終値)
- 40,110円以上42,000円未満
- 42,000円以上45,000円未満
- 45,000円以上50,000円未満
- 50,000円以上

(出所) マネックス証券作成

グラフ1-2: 2024年ダウ平均株価高値予想



- 39,131ドル (2024年2月23日終値)
- 39,132ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上45,000ドル未満
- 45,000ドル以上50,000ドル未満
- 50,000ドル以上

(出所) マネックス証券作成

2024年の日経平均株価の高値、並びにダウ平均株価の高値の予想を調査しました（調査開始日3月8日の日経平均株価終値は39,688.94円、3月7日のダウ平均株価の終値は38,791.35ドル）。2024年の日経平均株価高値予想は、「40,110円（昨年来高値）以上42,000円未満」が今年の高値になるという割合が40.2%と最も多くなりました。続いて「42,000円以上45,000円未満」が40.1%とほぼ同じ割合となっています。

ダウ平均株価高値予想は「39,132ドル（2024年昨年来高値）以上42,000ドル未満」が今年の高値になるという割合が49.5%と最も多く、続いて「42,000ドル以上45,000ドル未満」が34.0%となっています。

日経平均株価が4万円を突破し史上最高値を記録するなど相場が盛り上がりを見せるなか、日米ともに強気の見通しを立てている個人投資家が多いようです。

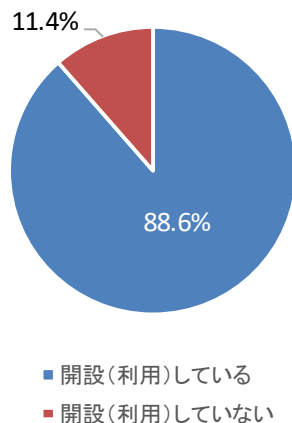
2. 新 NISA の利用状況

特別調査の2つ目として、新 NISA の利用状況について調査しました。

2-1. NISA 口座の開設状況について

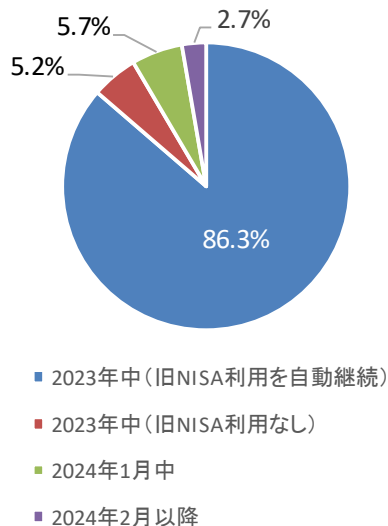
NISA 口座の開設状況と開設時期について調査しました。

グラフ2-1：NISA口座開設状況



(出所)マネックス証券作成

グラフ2-2：NISA口座開設時期



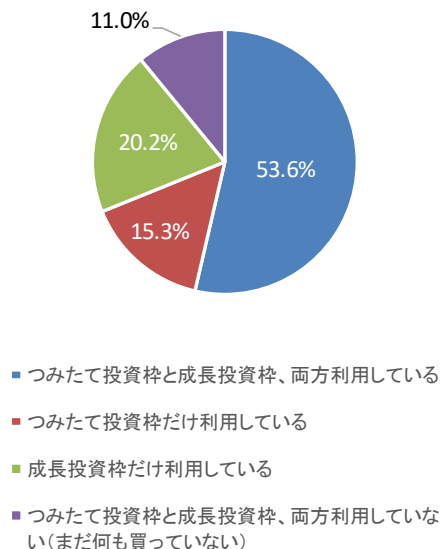
(出所)マネックス証券作成

9割近くの方が NISA 口座を開設しており、そのうちの8割以上の方が旧 NISA からの自動継続であることが分かりました。

2-2.新 NISA の利用状況について

「NISA 口座を開設している」と回答された方にその利用状況をたずねました。

グラフ2-3：NISA口座利用状況



(出所) マネックス証券作成

「つみたて投資枠と成長投資枠、両方利用している」という回答が最も多く半数以上を占めています。一方で「両方利用していない」という方の割合は約 1 割でした。

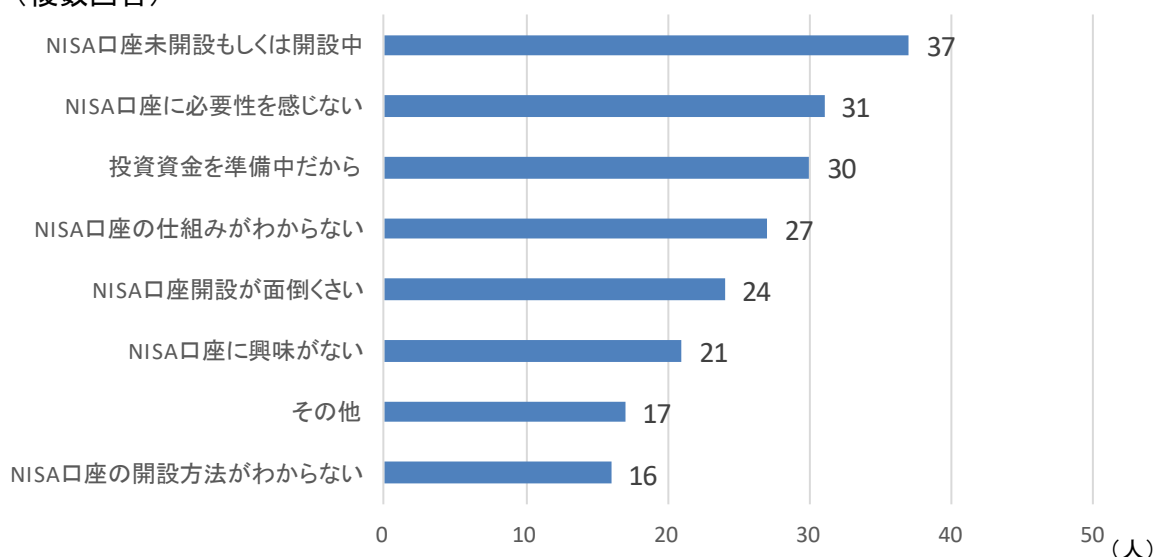
2-3.NISA 口座を利用していない理由と今後の利用意向について

「NISA 口座を開設 (利用) していない」と回答された方にその理由と今後の利用意向をたずねました。

「NISA 口座に必要性を感じない」という意見がある一方で、「投資資金を準備中」という前向きな回答も見られました。

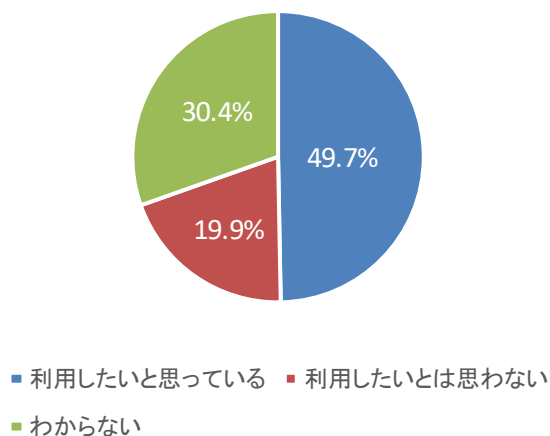
グラフ2-4：NISA口座を利用していない理由は何ですか

(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

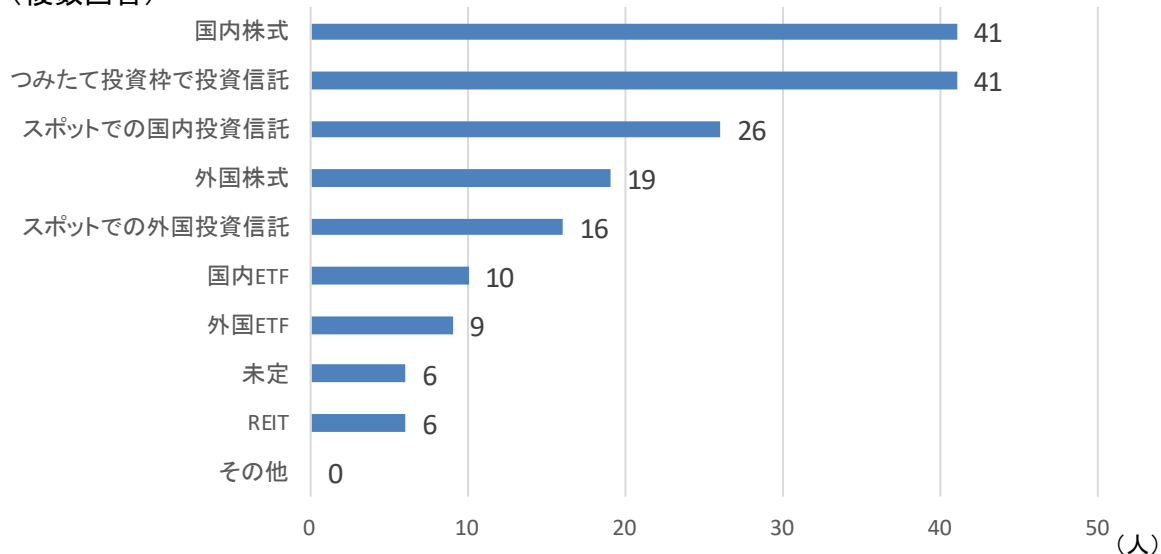
グラフ2-5: 今後NISA口座を利用したいと思いますか



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-6: 今後NISA口座利用したいと思っている場合、何に投資したいですか

(複数回答)



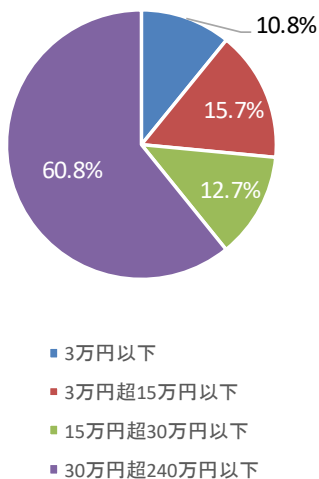
(出所) マネックス証券作成

NISA 口座を利用していない方の半数近くが「利用したい」と思っており、その投資対象として国内株式や国内投資信託を検討していることが分かりました。

2-4.成長投資枠の利用状況について

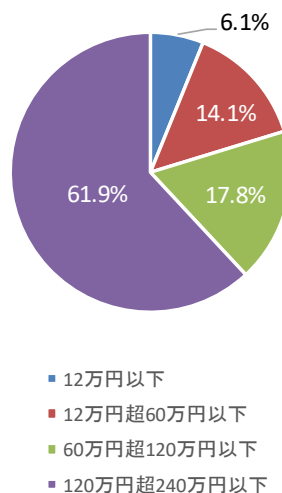
成長投資枠を利用していると回答された方にその利用状況をたずねました。

グラフ2-7: 成長投資枠ですでに投資した金額



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-8: 今年の成長投資枠での投資予定金額

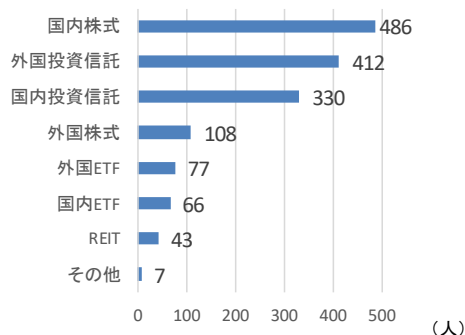


(出所) マネックス証券作成

6割以上の方が30万円を超える金額をすでに投資しており、今年中に120万円を超える金額を投資予定であることが分かりました。

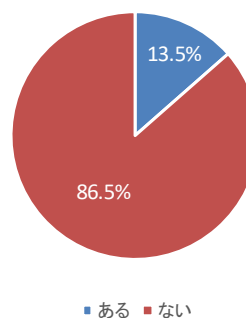
グラフ2-9: 成長投資枠で実際に購入した商品

(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-10: 成長投資枠で買付後に売却した商品はありませんか



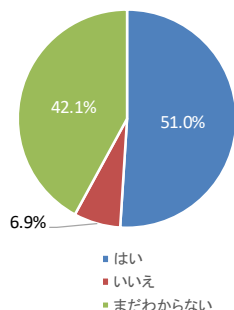
(出所) マネックス証券作成

成長投資枠で実際に購入した商品としては国内株式が最も多く、外国投資信託、国内投資信託が続く結果となりました。また、「成長投資枠で買い付けた商品を既に売却した」という回答は1割を超えていました。

2-5.成長投資枠の利用意向と利用しない理由について

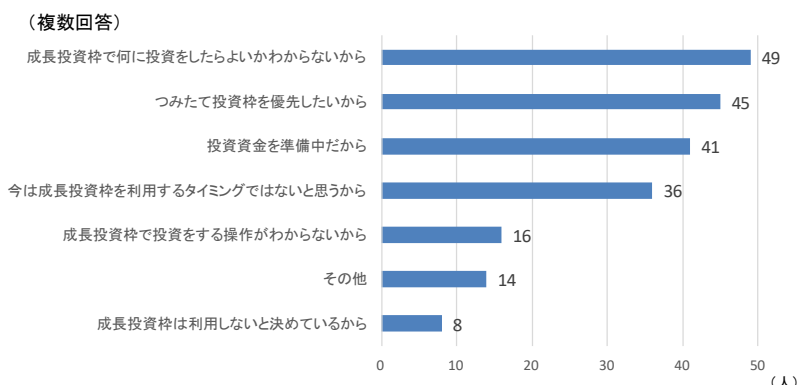
「成長投資枠を利用していない」と回答された方に今後の利用意向と利用しない理由をたずねました。

グラフ2-11: 今後成長投資枠を利用する予定ですか



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-12: 成長投資枠を利用する予定がない、わからない場合その理由は何ですか



(出所) マネックス証券作成

成長投資枠を利用していない方の半数以上は今後利用する意向がある一方で、利用予定を「まだわからない」とする回答が4割以上にのびました。また、「利用する予定がない」、「まだわからない」と回答した理由としては「何に投資したらよいか分からない」という意見に次いで、「つみたて投資枠を優先したい」という意見や「投資資金を準備中」という投資に前向きな意見が多いことが分かりました。

【定例調査～個人投資家の相場観について～】

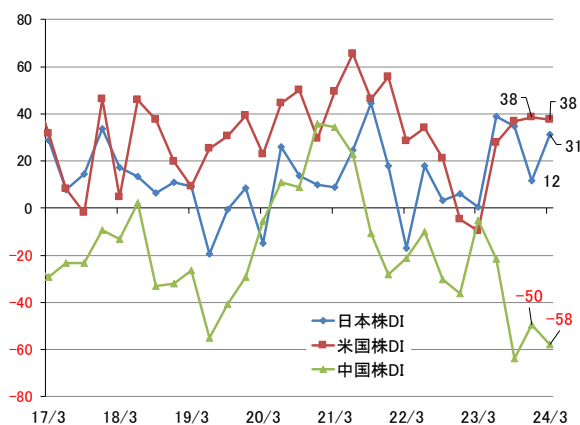
3. 日本、米国、中国のDIについて

今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場に対する個人投資家の見通しは日本は前回調査（2023年12月）から改善、米国は変わらず、景気の低迷が懸念される中国は一段の悪化が見られました。

- 【日本株DI】（2023年12月）12 → （2024年3月）31（前回比 +19ポイント）
- 【米国株DI】（2023年12月）38 → （2024年3月）38（前回比 ±0ポイント）
- 【中国株DI】（2023年12月）-50 → （2024年3月）-58（前回比 -8ポイント）

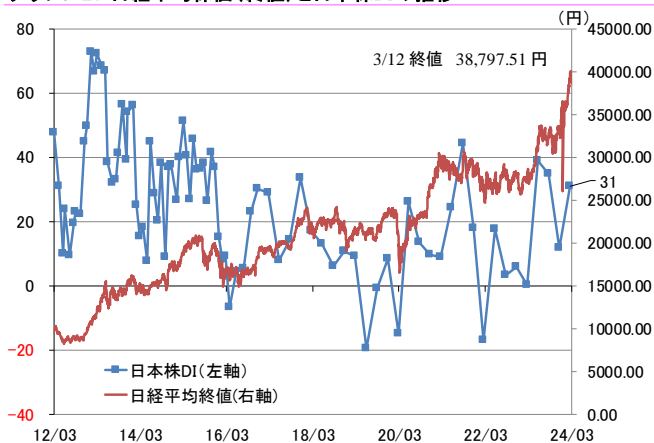
※ DI：DIとは、相場が「上昇すると思う」と回答した割合（%）から「下落すると思う」と回答した割合（%）を引いたポイントです。DIがプラスとは、「上昇すると思う」と回答した割合が高く、DIがマイナスとは、下落すると思うと回答した割合が高いことを示します。

グラフ3-1: 今後3か月程度の株価予想



(出所) マネックス証券

グラフ3-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



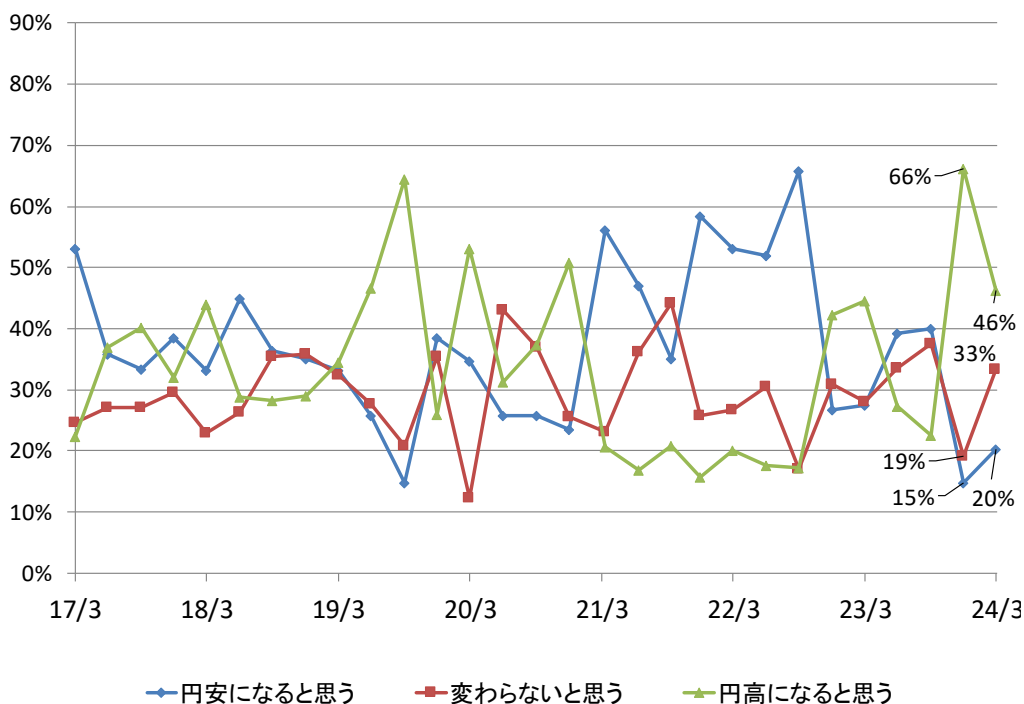
(出所) マネックス証券

4. 為替市場について

今後3ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しについてたずねました。「円安になると思う」が前回比+5%で20%となりました。「変わらないと思う」の回答の割合も前回調査からはプラス、「円高になると思う」の回答の割合は前回比-20%で46%となりました。

- 【円安になると思う】(2023年12月) 15% → (2024年3月) 20% (前回比+5%)
- 【変わらないと思う】(2023年12月) 19% → (2024年3月) 33% (前回比+14%)
- 【円高になると思う】(2023年12月) 66% → (2024年3月) 46% (前回比-20%)

グラフ4-1: 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場予想



(出所) マネックス証券

■総括（マネックス証券 インベストメント・ストラテジーズ 塚本 憲弘）

今回は 2024 年の日米株価高値予想や新 NISA の活用状況、日米中の株式市場やドル円見通しについて調査を行いました。

調査対象の日経平均株価とダウ平均株価はともに前回調査以降の 3 ヶ月間は上昇基調にあり、特に日経平均株価は一時節目の 4 万円に到達する展開でした。日米で生成 AI をテーマに関連銘柄が物色の中心となりながら、米国では堅調な景気動向が確認され、日本ではデフレ脱却期待や東京証券取引所による低 PBR 是正が促される中で、引き続き堅調な相場付きを予想する投資家が多い結果となっています。日本株 DI は前回比大きく改善し、米国株 DI も良好な水準にありますが、中国への懸念は引き続き根強い結果です。また、米ドル／円が年明け以降円安基調となり再度 150 円を超える展開の中、為替市場の見通しも円高予想がまだ優勢ながら、その割合は大きく減少しています。

このような堅調な相場展開とその継続が期待される中で 1 月から始動した新 NISA も順調なスタートが見られています。今後の利用意向も高いなかで皆様の投資対象の選定や投資成果向上のサポートとなるよう、今後も質の高い情報発信やサービスの拡充に努めてまいります。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

2024 年 3 月 21 日 執筆

■調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 1,495
 調査期間： 2024年3月8日～3月13日

【性別】

男性	女性	回答しない
75.0%	23.3%	1.7%

【年齢】

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	80歳以上
0.1%	1.5%	8.2%	18.9%	35.1%	24.3%	10.2%	1.6%

【金融資産】

500万円未満	500万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円以上
17.9%	15.8%	19.9%	23.6%	14.0%	8.8%

【売買頻度】

デイトレード	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
2.7%	10.5%	30.3%	26.9%	29.6%

【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年以上
7.4%	16.3%	18.0%	58.3%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したのではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・ グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
 一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会